

あしやNPO通信 第5号

この広報紙は(特活)あしやNPOセンターの活動内容をお伝えするものです。

正会員 (50 音順 敬称略)

石本 章宏・上野 義治

海士 美雪・加藤 純子

塚 執 ・津久井 進

中田 智恵海・萩原 一男

林 謙太郎・信岡 利英

三上 雄太郎・向 俊治

森田 博一

芦屋市自治会連合会

(社福)芦屋市社会福祉協議会

芦屋熟年コーラス

芦屋東ライオンズクラブ

(特活)芦屋サッカークラブ

(特活)芦屋体育協会

(特活)芦屋市手をつなぐ育成会

芦屋観光協会

(個人 13 人・団体 8 団体)

賛助会員

(個人 8 人・団体 1 団体)



謹賀新年



指定管理者 5 年目の終盤を迎えようとしています。

皆様の温かい見守りと、力強いご支援ご協力で 5 年間の業務が遂行できました。心から感謝申し上げます。ありがとうございます。今後も地域の課題解決に取り組みよう、理事、職員一同精進してまいります。本年もよろしくお願い致します。

3センター協働事業

(西宮市市民交流センター、シンフォニー、あしやNPOセンター)

地域づくり応援講演会

成功する市民活動、失敗する市民活動

2014年9月13日(土)西宮市市民交流センターにおいて、中間支援センターの役割を理解いただくことと、助成金情報の発信を目的として開催した。

第1部は、(社福)大阪ボランティア協会常務理事 早瀬昇氏の講演、第2部は、「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」、「ダイエー 幸せの黄色いレシート」、「テックスープ PC 製品の年間寄贈」の情報提供を行った。地域的な偏りなく、幅広い阪神間の市民活動団体から74人にご参加いただいた。アンケート結果によると、参加者には「市民活動」という抽象的な概念を早瀬氏が親しみやすく体系化し、具体例を交えて話されたことがわかりやすかったようだ。後日、助成金についての相談が増加したことから今後の市民活動の進め方について、何らかの手がかりを持って帰られた方が多かったと成果を実感している。



7月5日(土)実践！PDCA (plan-do-check-act) サイクル講座

PDCA サイクルとは課題の原因分析をロジックツリー手法で行い、的確で効果的な改善策を得る方法である。地域行事や日常業務の作業の効率性を見直すツールにする等活用範囲は広く、小地域でのふれあい行事や、忙しいママさんの一日の段取り術等、身近な課題から活用できるそうだ。(参加者11人)



9月20日(土)市民活動・NPOパワーアップ講座挑戦！新規事業開発講座



社会変革を目指した顧客志向のマーケティングについて学ぶ講座。市民活動を行っている団体にとって、新規事業開発は大きな関心事。戦略的な視点をもって新規事業を計画することが重要になる。今後、関心のある団体にはNPO相談窓口などで助成金情報個別に紹介していく。(参加者10人)

12月6日(土)市民活動・NPO支援講座 簿記初心者のための決算業務のすすめ方

決算業務のノウハウを一から伝授する講座。初めて会計を担当するものにとってはとっつきにくく、専門用語から解説していったほうがよかったように思われた。次回からは会計ソフトの導入の有無等をふくめ、具体例をあげた個々のセミナースタイルを今後は考えていく。(参加者20人)



12月15日(月)就職相談会

来年度に企画している「就労と起業の相談会」事業の実施に向けて試験的に就職相談会を(特活)シンフォニー(尼崎市)とともに行った。参加の申込状況などのリサーチの目的で個人相談会を開催したが、参加申し込み3人中2人はキャンセルとなり、参加実績は1人だった。来年度の事業の実施にあたっては、よりニーズに添った内容になるよう工夫をし、実施日のひと月前から阪神南エリアの他施設にホームページへの掲載やチラシ配架を依頼したり、プレスリリースを行ったり広報媒体を増やすよう努める。

賛助会員募集

(特活)あしやNPOセンターでは賛助会員を募集しています。会員の方には、セミナー等の情報をお送りさせていただきます。

編集後記

今年度は西宮市市民交流センター、シンフォニーと共に市民活動の応援のためのセミナー等に取り組むと同時に、兵庫県内、関西圏内の中間支援団体との交流を深めています。今後も阪神間に留まらず、広く交流と支援に努めます。記事の内容、講座、イベントも含め、要望、アイデア等ありましたら是非ご連絡ください。

発行日：平成27年1月8日
 (特活)あしやNPOセンター
 (あしや市民活動センターリードあしや内)
 TEL:0797-38-6841
 FAX:0797-26-6453